

公的医療機関等 2025 プランの変更について

1 呉市医師会病院

(1) 2025 プラン変更の概要

- ・病床削減を伴う病棟再編（198床⇒150床 △48床）
- ・病床機能別病床数の見直し（急性期から回復期への転換）
- ・病床削減に係る、地域医療介護総合確保基金（病床機能再編支援事業 単独支援給付金）の活用

(2) 再編の概要

<令和6年7月1日時点>		<再編後>	
急性期	93床	急性期	32床
回復期（地ケア）	105床	回復期（地ケア・一般）	118床
（合計）	198床	（合計）	150床
			△48床

△61床
+13床

(3) 事業計画と今後のスケジュール

前回のプラン変更時（R5.2）に、病床数や転換時期については検討中であるものの、病床削減を伴う回復期機能への一部転換の方針は示されていた。

最短で、令和7年5月頃の再編予定。

再編後も、かかりつけ医の後方支援という、呉市医師会病院の機能に変更はない。

2 呉共済病院

(1) 2025 プラン変更の概要

- ・病床機能別病床数の見直し（高度急性期・急性期から回復期への転換）
- ・回復期病床への転換に係る、地域医療介護総合確保基金（病床機能分化・連携促進基盤整備事業）の活用

(2) 再編の概要

<令和6年7月1日時点>		<再編後>	
高度急性期	60床	高度急性期	57床
急性期	279床	急性期	262床
回復期（地ケア）	34床	回復期（地ケア）	54床
（合計）	373床	（合計）	373床
			±0床

△3床
△17床
+20床

(3) 事業計画と今後のスケジュール

令和7年10月を目標として、回復期機能への病床転換に伴う施設整備及び設備整備を予定。事業（整備）内容の詳細は検討中。

地域医療介護総合確保基金の活用について

地域医療構想の実現に向けて、不足が見込まれる病床機能への転換や、医療機関の事業縮小等に際し必要となる経費に対して、地域医療介護総合確保基金を活用した補助事業を実施することにより、医療機関における病床機能分化・連携への自主的な取組みを支援する。

事業を実施する（補助金の交付を受ける）に当たっては、圏域の「地域医療構想調整会議」及び「広島県医療審議会保健医療計画部会」での協議を経て、地域医療構想の実現に向けた必要な取組みと確認されることが要件となる。